

## — 教育目標 —

### 克己・友愛・創造の心を培う

愛と信頼を教育の根幹に置き、常に自己実現を目指して、己に厳しく努力し続ける創造性豊かな生徒を育成する。

## — 学校の教育目標を達成するための基本方針 —

- ア 学校生活全般を通して、自主性や主体性、責任感を育て、互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識を持ち、社会に貢献しようとする生徒の育成に努める。
- イ 多様な生徒の学習希望に対応した授業形態を整えるとともに「授業で勝負」「教養で勝負」を合言葉に、学習を学校生活の中心に位置づける。さらに、常に教員が授業改善を行う風土を創ることで、きめ細かな学習指導を行い、生徒が第一志望で進路決定できる学力を獲得させる。
- ウ 将来のあり方、生き方を考えさせながら、目標や夢を高く掲げ、目標実現のために計画的、継続的にチャレンジしようとする力の育成を通して、充実感や達成感とともに自ら切り開いていく力を身につけさせる。
- エ 学校評価を踏まえ、家庭及び地域との連携を深め、地域に期待され、愛される学校づくりに向けて、常に改善していく。

## — 校章の由来 —

校舎の中庭に楠が大・中・小と植えられている。その木を校樹とした。楠の花に教育目標の「克己・友愛・創造」を象徴し、中心の六角形の雌蕊しずいは真の自己の確立を目指す「克己」を、その周辺の手を結んだ6本の雄蕊ゆうずいは「友愛」を、外周の6枚の花弁は、それぞれの自己の人生の「創造」を目的として発展していく姿を象徴している。

